

まつしげ町

MATSUSHIGE TOWN

No. **66**
2016.12

議会だより

平成28年
第3回定例会



大根・松茂美人(サツマイモ)の収穫・浜葱

目次

- 議決の結果及び内容…………… 2ページ
- 町政に対する一般質問…………… 4ページ
- 常任委員会委員長レポート…………… 7ページ
- 第3回臨時会／平成27年度各会計の決算を認定…………… 10ページ
- 全員協議会報告／編集後記…………… 12ページ

発行／徳島県松茂町議会
編集／松茂町議会広報特別委員会
〒771-0295 徳島県板野郡松茂町広島字東裏30
TEL 088-699-8720 FAX 088-699-6010

議決の結果及び内容 (詳しくは町HPの会議録をご覧ください。図書館でも閲覧可能です。)

定例会 9月2日～9月16日

議案番号	件名及び内容	議決年月日	議決の結果
諮問第2号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて ◆人権擁護委員として、藤本理世子氏の推薦に異議なしと答申。	28年9月2日	推薦答申
同意第2号	教育委員会教育長の任命について ◆教育委員会教育長として、庄野宏文氏を任命することに同意。	28年9月2日	同意
同意第3号	教育委員会委員の任命について ◆教育委員会委員として、三好増勝氏を任命することに同意。	28年9月2日	同意
報告第5号	平成27年度健全化判断比率の報告について ◆日根代表監査委員から、財政健全化法に基づく審査結果について、財政がきわめて健全な自治体であると報告。	28年9月2日	報告済
報告第6号	平成27年度資金不足比率の報告について ◆日根代表監査委員から、財政健全化法に基づく審査結果について、資金の不足額はなく良好であると報告。	28年9月2日	報告済
報告第7号	松茂町水道特別会計継続費精算報告書について ◆上水道拡張事業(第1期)が完了したので平成25年度から平成27年度までの継続費について精算報告。	28年9月2日	報告済
報告第8号	専決処分の報告について 専決第14号 伊沢裏地区排水ポンプ工事変更請負契約締結について ◆変更後の契約金額 70,188,120円	28年9月2日	報告済
議案第44号	松茂町税条例の一部を改正する条例 ◆改正の主な内容は、平成29年1月1日から、町民税で特例適用利子等又は特例適用配当等を分離課税する。	28年9月16日	原案可決
議案第45号	松茂町国民健康保険税条例の一部を改正する条例 ◆改正の主な内容は、町民税で分離課税される特例適用利子等及び特例適用配当等の額を、所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含める。	28年9月16日	原案可決
議案第46号	松茂町重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例 ◆改正の主な内容は、平成28年10月1日から、ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充により児童の通院時の医療費に対しても助成する。	28年9月16日	原案可決
議案第47号	平成28年度松茂町一般会計補正予算(第2号) ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ2,471万3千円を追加し、総額を66億789万2千円とする。 歳入では、平成27年度各種事業確定による返納金、前年度繰越金等の増額補正。歳出では、電子計算費等の増額補正。	28年9月16日	原案可決
議案第48号	平成28年度松茂町国民健康保険特別会計補正予算(第1号) ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ419万2千円を追加し、総額を19億1,791万1千円とする。 歳入では、前年度繰越金等の増額補正。歳出では、平成27年度精算による返還金等を増額補正。	28年9月16日	原案可決

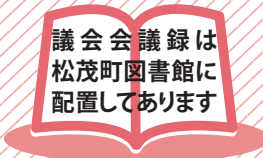
議案番号	件名及び内容	議決年月日	議決の結果
議案第49号	平成28年度松茂町介護保険特別会計補正予算（第1号） ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ1,722万9千円を追加し、総額を10億5,470万6千円とする。 歳入では、前年度繰越金等の増額補正。歳出では、平成27年度精算による返還金等を増額補正。	28年9月16日	原案可決
議案第50号	平成28年度松茂町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ52万6千円を追加し、総額を1億6,331万3千円とする。 歳入では、前年度繰越金の増額補正。歳出では、平成27年度精算による返還金を増額補正。	28年9月16日	原案可決
議案第51号	平成28年度松茂町長原渡船運行特別会計補正予算（第1号） ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ284万2千円を追加し、総額を1,467万6千円とする。 歳入では、前年度繰越金の増額補正。歳出では、同額を予備費に充当。	28年9月16日	原案可決
議案第52号	平成28年度松茂町農業集落排水特別会計補正予算（第1号） ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ47万4千円を追加し、総額を1億949万4千円とする。 歳入では、前年度繰越金の増額補正。歳出では、平成27年度精算による返還金を増額補正。	28年9月16日	原案可決
議案第53号	平成28年度松茂町公共下水道特別会計補正予算（第1号） ◆既定の歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ285万9千円を追加し、総額を4億7,811万円とする。 歳入では、前年度繰越金等の増額補正。歳出では、平成27年度精算による返還金等を増額補正。	28年9月16日	原案可決
認定第1号	平成27年度松茂町一般会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第2号	平成27年度松茂町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第3号	平成27年度松茂町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第4号	平成27年度松茂町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第5号	平成27年度松茂町長原渡船運行特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第6号	平成27年度松茂町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第7号	平成27年度松茂町公共下水道特別会計歳入歳出決算認定	28年9月16日	認 定
認定第8号	平成27年度松茂町水道特別会計決算認定	28年9月16日	認 定
	委員会の閉会中の継続調査について ◆総務常任委員会、産業建設常任委員会、教育民生常任委員会、議会運営委員会、広報特別委員会及び地震・津波対策特別委員会は継続調査を行う。	28年9月16日	原案可決
臨時会 10月13日			
議案番号	件名及び内容	議決年月日	議決の結果
議案第54号	中喜来地区津波避難タワー建設工事請負契約締結について ◆契約金額：7,916万4千円 契約の相手方：兼子建設株式会社	28年10月13日	原案可決

「声を聞きたい！」

町政に対する一般質問

本年三回目の定例会が九月二日から十六日にかけて開催されました。二日目に当たる六日には一般質問が行われました。

今回は、さまざまな施策を素材にして、町が将来、より住みやすく、より働きやすい町になるようにするため、質疑が行われました。



川田 修 議員



1 松茂町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略の目標達成について

Q 松茂町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略は、人口減少対策をはじめ地方創生に係る施策について具体的な展開方法を示す実施計画として、

本年一月、議会でも承認され、現在、町もその目標達成に向け取り組んでいることと思う。しかし、その中でも基本目標2「松茂町への新しいひとの流れをつくる」と基本目標3「若い世代の結婚・子育てを支援し、若い世代の希望をかなえる」については、ぜひ達成したい目標ではあるが、なかなか実現が難しいのではないかと思ひ、私からも提言しながら、以下の二点を質問したい。

(1)まず、基本目標3から何うが、現在、松茂町の合計特殊出生率は一・五六で、これを五年間で一・六五にすると目標を立てている。そのため、町は特定妊婦治療費助成、預かり保育等のい

ろいろな事業をするとあるが、さらに加えて、何か子育て世代が喜ぶような発想で事業を追加する必要があると思う。

例えば、四国で唯一、合計特殊出生率一・八〇を達成している愛媛県新居浜市のエンゼルヘルパー事業（妊娠中・出産後の妊婦さんのもとにヘルパーを派遣し、保育の手伝いをする事業）、子育てリユース品紹介事業（不要となったベビーベッド等の子育て用品をお互いに無料で授受する事業）はとてもいいなどと思う。また、兵庫県明石市では、児童生徒向けの医療費や保育料の無料化の拡充など、若い子育て世代が同市に移住したくなるような動機づけを行う施策を展開し、人口減少傾向に歯止めをかけた。

そこで、町でも、子育て世代の職員でプロジェクトチームを組んで、このような先進事例の情報収集を行いつつ、彼ら子育て世代が望み、かつ町に住みたくなるような政策提言を行ってもらう仕組みをつくってはどうか。そうすれば、その町職員も、

町の将来を考え、政策を提言できる機会を与えられることで、とてもいい勉強になり、職員として大きく伸びるきっかけにもなると思う。

(2)基本目標2の中で空き家・土地情報提供事業についてだが、本事業については昨年第三回定例会で、私の質問、いわゆる空き家バンクを創設し、不動産業界と連携して町の空き家・賃貸物件の情報提供をしてはどうかというのに対して、町は、空き家バンクを創設している県内の自治体には戸建ての空き家が多いが、町の空き家には賃貸物件が多いので、移住希望者には相談があれば必要に応じて対応すると答弁していた。しかし、総合戦略には、空き家・土地情報提供事業が載っている。もちろんこれはこれでいいことだが、昨年からの計画策定の間に何があつて町の方針が変わったのか。いづれにせよ、町だけではなく、不動産業界等関連業界のノウハウや力も借り、先進自治体の事例も参考にしながら、この事業に取り組んでいただきたい。

A

(1)基本目標3につき、若い子育て世代の職員によるプロジェクトチームからの提言をということですが、先進自治体の視察及び若い世代からの意見聴取などを十分行いながら、現在の体制でも検討しています。この体制のもとで、今後子育て支援の拡充に努めてまいります。

(2)基本目標2については、町の方針は変わっていません。ご指摘の空き家・土地情報提供事業は、本年一月、国土交通省による空き家等の調査に関する補助事業が新設されたことへの対応として町の総合戦略に入れたもので、本調査については九月中に発注する予定です。この調査の成果は、後ほどご説明する空き家等対策計画の策定に役立てるほか、住民から空き家に関する相談があった場合、本調査によって得た情報を活用し、支援を行うこととなっています。

空き家等対策推進法では空き家等対策計画を各自治体で策定するようにとあり、町も計画策定に向け、協議会を設置します。

今後、空き家等の活用促進に関して、議員ご提言の空き家バンクの創設、ホームページでの情報提供等も視野に入れ、協議会の意見を賜りながら具体的施策を定めたいと考えています。

板東絹代 議員



1 ふるさと納税について

Q ふるさと納税が平成二十年度からスタートした。同制度には、一、納税者が寄附先を選択することで、その使われ方を考える契機となる、二、お世話になった地域、応援したい地域への力になれる、三、自治体が国民に取組みをアピールすることで、地域のあり方を改めて考える契機となるという大きな三つの意義があると思う。

本年六月の徳島新聞によると、ふるさと納税の寄附受入額では、徳島県は全国で最下位である。また、県内トップの吉野川市では六千五百五十一件、六千八百四十二万円、返礼品を四十六種類から七十九種類に増やしていると。一方、町の状況を見ると、六月時点では百五十五件、百五十一万円で県内二十位であった。

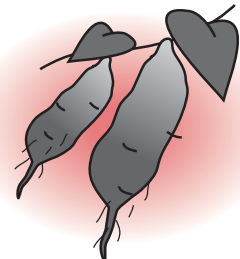
別の報道によると、ふるさと納税で返礼品を充実させている自治体に寄附が集まる傾向にあるとあった。

そこで町も、ふるさと納税の新規寄附者及びリピーターを増やすためにも、返礼品の見直し・充実を図ってはどうか。その一つの案として、特産品だけではなく、他自治体でも行われているふるさと安心見守りサービス（遠方に住み、地元の家が空き家になっている人向けに、ごみ拾い・草のりの清掃や管理等を行うサービス）など、寄附者に喜ばれるサービスを町のシルバー人材センターや障がい者福祉施設の協力を得ながら行っはどうか。

A

ふるさと納税は、その導入以来、町でも全国でも増加傾向にあります。これは控除上限額の引上げ、各自治体による返礼品の充実によるものと思われま

しかし、一方、総務省からは、制度の趣旨に反する行き過ぎた返礼品は自粛するようにと求められています。町としても、ふるさとを離れた人たちが生まれ育ったふるさとを応援するという制度の趣旨を尊重し、いわば返礼品合戦に陥ることなく節度を持って、これまで同様、本町の風土をより濃く反映できる水産物・農産物等の町の特産品を中心に返礼品を選定したいと思えます。したがって、議員ご提言のようなサービスをメニューに加える予定は現時点ではございません。



ちなみに空き家対策については、町外在住者からご相談があった場合、町内業者を紹介するなど、丁寧な対応に努めます。

2 女性活躍推進行動計画について

Q 本年四月に女性活躍推進法が全面施行され、各自治体

には、その行動計画の策定が義務づけられた。これを受け、町でも早速、女性活躍推進行動計画が策定されたが、以下の二点を質問したい。

(1) 町での女性管理職の割合はどうか。計画には記載がないようだが。

(2) 男性の育児休業取得率の目標を一〇%にした根拠は何か。これは希望者には一〇〇%を目標にしてもいいのではないかと思うが。

一般的に第一子を出産した女性の約六割が退職を余儀なくされ、男性も長い労働時間のため、子育てに参加しづらいという現状を考えるに、やはり仕事と子育てが両立できる職場環境をつくるのが肝要だ。そのようなことを民間企業に指導・支援する立場でもある地方公共団体が率先して、この職場改善に取り組むことが求められている。町

は目標達成に向け、PDCAサイクルを確立し、進捗状況を明らかにしつつ取り組んでいきたい。

A (1) 計画で女性管理職の目標割合を掲げなかったのは、

管理職への登用は、経歴・実力等その職員の資質に着目して行われるからです。女性だからという理由は、むしろ人事評価制度の趣旨になじまないと考えます。ちなみに女性管理職の割合は、平成二十四年度の約九%から現在の約二五%と着実に増えています。また、次代の管理職となる課長補佐等での女性職員の割合は約五八%と過半数以上となっているので、将来的には女性管理職の割合はさらに増える

など、本町女性職員の活躍は確かなものになると考えています。(2) 男性育児休業取得率を一〇%とした根拠ですが、実は昨年度まで、この実績はゼロでした。このような現状を踏まえ、まずは最初の一件を達成したいと思い、計画では一〇%とした次第です。今後は、議員ご提言のように仕

事と家庭の両立が図られ、男性も育児休暇をとりやすい職場環境づくりを進め、ぜひ最初の一件を達成したいと考えていますので、議員の皆様にもぜひご理解、ご協力をお願いいたします。

3 高齢者運転免許証自主返納支援について

Q 最近、高齢者が被害者ではなく、加害者になる交通事故

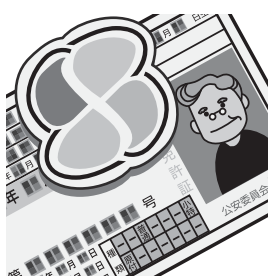
が増加している。よくあるケースがブレーキとアクセルを踏み間違えたとか、思った場所にとまらなかったというものだ。これら事故をなくすためには、もちろん交通安全の啓発も大事だが、高齢者ドライバーに免許証の返納を促す方策もある。実際、高齢者の中には、ご自身の運転に不安を覚えているもの、やはり返納後、日常の移動が極端に不便になることから、返納に躊躇している方も多い。

全国や県内の自治体には、高齢ドライバーの運転免許証の返納を促すため、一定の限度付きだが、電車・バス・タクシー等の利用券を交付したり、料金割引制度を導

入しているところが多い。町も例えばタクシー利用券を一人一回限りで一万円分交付するなどして、高齢ドライバーの運転免許証自主返納を支援してはどうか。

A 町では一昨年に十三名、昨年は二十三名の高齢者の方に免許証を自主返納いただきました。町としては、高齢者の自主返納を支援するため、議員ご提案のタクシー利用券の交付については導入の予定はありません。

本町では、町内に路線を持つ徳島バスの運賃割引制度の導入を関係機関に働きかけていますので、まずはこの実現を優先します。また、昨年十二月の定例会において答弁しましたように、福祉バスの増便をできるだけ早期に実現させ、高齢者の皆様の日常の移動手段を確保することで、運転免許証の自主返納を支援していければと考えています。



常任委員会 委員長レポート

第三回定例会における

委員長報告は次のとおりです。

(各会計の修正総額等は、議決の結果及び内容をご覧ください。)



総務常任委員会

委員長 森谷 靖

付託された議案三件は、原案のとおり可決いたしました。

この審議の中での主なものを報告いたします。

松茂町税条例の一部 を改正する条例

この条例改正は、所得税法等の一部を改正する法律の公布などに伴い、特例適用利子等及び特例適用配当等に係る個人の町民税の課税の特例などを定めるため、所要の改正を行うものです。

改正の施行期

日は、平成二十

九年一月一日で

す。



松茂町国民健康保険 税条例の一部を改正 する条例

この条例改正は、松茂町税条例の一部を改正する条例と同様に所得税法等の一部を改正する法律の公布などに伴い、町民税で分離課税される特例適用利子等の所得及び特例適用配当等の所得を、国民健康保険税の所得割額の算定及び軽減判定に用いる総所得金額に含めるため、所要の改正を行うものです。

改正の施行期日は、平成二十九年一月一日です。

平成二十八年年度松茂 町一般会計補正予算 (第二号)(所管分)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ二千四百七十一万三千円を追加し、補正後の総額を六十六億七千八百九十九万二千円とするものです。

歳入の総務費県補助金で百三万三千円の増額補正は、避難所緊急安全診断事業費補助金として県が新たに避難所における地震の揺れ

に対する天井等の非構造部材の安全性を確保するため、緊急点検の実施に対する補助制度を創設したもので、本町は避難所八施設について緊急点検を実施するものです。前年度繰越金で五百二十九万三千円の増額補正は、この度の補正における一般財源として計上するものです。

雑入で一六六十八万一千円の増額補正のうち、板野東部消防組合分担金繰越金返納金で八百四十一万一千円の増額補正は、平成二十七年年度の決算確定に伴い、余剰金の返納によるものです。

歳出の総務費、一般管理費の委託料で百九十四万四千円の増額補正は、マイナンバー法の改正に伴い、平成二十八年六月一日に特定個人情報取扱の状況に係る行政機関等に対する定期的な検査に関する規則が制定されたことに対応するものです。

電子計算費で、一千五十一万八千円の増額補正は、自治体システム強靱性向上対応として管理サービスの整備と制度改正等に対応するためコンピューターシステムの改修を行うものです。国際交流まち

づくり事業費で、百四十二万円の減額補正は、本年度の夢フライト国際交流事業中学生派遣事業で九十二万円と夢フライト国際交流事業補助金で五十万円の減額補正は決算見込みによるものです。危機管理費の委託料で百三万三千円の増額補正は、八カ所の避難所について非構造部材の安全性を調査・把握するものです。徳島海区漁業調整委員選挙費で百六十万一千円の減額補正は、当該選挙が無投票のため予算全額を減額するものです。消防費で四百四十七万二千円の増額補正は、板野東部消防高機能消防指令センターの完成に伴い旧施設の改修工事に要する分担金であり、早期の工事着手を行うものです。

主な質疑事項

Q このたびの避難所緊急安全診断業務はどのような考え方でしようか。

A 今回の調査は、指定避難所のうち非構造部材、天井とか照明器具が地震で落下する恐れがある八施設を調査するものです。

産業建設常任委員会

委員長 一森 敬司

付託された議案四件は、原案のとおり可決いたしました。

この審議の中での主なものを報告いたします。

平成二十八年年度松茂町一般会計補正予算(第二号)(所管分)

歳入の土木費国庫補助金で六十五万八千円、土木費県補助金で六十七万八千円の増額補正は、国及び県から木造住宅耐震化促進事業補助金の追加交付の見込みによるものです。雑入で公共下水道及び農業集落排水特別会計繰越金返納金は、平成二十七年年度決算により一般会計に返納するものです。

歳出の清掃総務費で八十四万八千円の増額補正は、北川向自治会に対する排水路清掃事業補助金で、できるだけ早く水路の排水機能が確保できるようにするものです。住宅管理費の木造住宅耐震化促進事業補助金で百六十万円の増額補正は、本年度は希望者が増えてお

り、国庫の追加交付が見込まれることによるものです。公共下水道特別会計繰出金で十万円の増額補正は下水道管理費の人件費に充てるものです。

平成二十八年年度松茂町長原渡船運行特別会計補正予算(第一号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百八十四万二千円を追加し、補正後の予算の総額を一千四百六十七万六千円とするものです。歳入の繰越金で二百八十四万二千円の増額補正は、平成二十七年年度の決算によるもので、歳出で同額を予備費に充てるものです。

平成二十八年年度松茂町農業集落排水特別会計補正予算(第一号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ四十七万四千円を追加し、補正後の予算の総額を一億九百四十九万四千円とするものです。歳入の繰越金で四十七万四千円は、平成二十七年年度決算によるも

ので、歳出で同額を一般会計繰入金返還金で増額補正するものです。

八月末日現在の接続状況については、長岸地区、中喜来地区、北川向地区の三地区の合計は三百十九戸で、接続率は約七三・三％です。

主な質疑事項

Q 本年四月から農業集落排水使用料が従量制に移行しましたが、収入状況はどうなっていますか。

A 使用料収入は本年七月と前年七月を比較したところ、約一・五倍に増えています。

平成二十八年年度松茂町公共下水道特別会計補正予算(第一号)

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ二百八十五万九千円を追加し、補正後の予算の総額をそれぞれ四億七千八百一十万円とするものです。

歳入の一般会計繰入金で十万円の増額補正は歳出の財源に充てるものです。繰越金で二百七十五万九千円の増額補正は、平成二十七年年度の決算によるものです。歳出の公共下水道管理費で十万

円の増額補正は、職員手当等です。返還金で二百七十五万九千円の増額補正は、平成二十七年年度決算に伴い、前年度繰越金を一般会計に返還するものです。

八月末日の接続状況については、公共汚水ます設置戸数一千百七十七戸に対して、接続完了戸数は六百十五戸で、接続率は五五・一％です。

教育民生常任委員会

委員長 佐藤 道昭

付託された議案五件は、原案のとおり可決いたしました。

この審議の中での主なものを報告いたします。

松茂町重度心身障がい者等に対する医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例

改正の主な内容は、平成二十八年十月一日から、ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充により、児童の通院時の医療費に対しても助成することに伴い、条例の一部を改正するものです。

**平成二十八年度松茂
町一般会計補正予算
(第二号)(所管分)**

歳入の民生費負担金で八十七万円の増額補正は、ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充に伴うものです。雑入で介護保険及び後期高齢者医療特別会計繰越金返納金は、平成二十七年度の決算により一般会計に返納するものです。

歳出の社会福祉総務費で百七十四万円の増額補正は、ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充による費用です。児童福祉総務費の需用費で二十二万七千円の減額補正と使用料及び賃借料で十三万三千円の増額補正は、各児童館に設置しているAED五台分について当初は付属品の取り替えを予定していましたが、変更でリースにより機器入れ替えを実施するものです。予防費で百三十七万八千円の増額補正は、十月一日から乳児に対するB型肝炎ワクチン定期予防接種が対象となったものです。図書館費の需用費で三十二万四千円の増額補正は、図書館書棚の修繕費用です。

主な質疑事項

Q AED取り扱いの研修をしていますが。

A AED導入時に業者から講習を受けています。

**平成二十八年度松茂
町国民健康保険特別
会計補正予算(第一
号)**

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ四百十九万二千元を追加し、補正後の予算の総額を十九億一千七百九十一万一千円とするものです。

歳入の制度関係業務準備事業費補助金で五十四万円の増額補正は、平成三十年四月からの制度改正の準備として本町の納付金等の算定に必要なデータを提供するために、自庁システムの改修を行う事業費を国が補助するものです。前年度繰越金で三百五十万二千元の増額補正は、平成二十七年度実績に伴う返還金などの財源に充てるものです。雑入で十五万円の増額補正は、脳ドックの受診人数の増加によるものです。

歳出の一般管理費で五十四万円の増額補正は、制度改正により必要となるデータを抽出するためのシステム改修に要する費用です。

保健衛生普及費で五十一万円の増額補正は、脳ドックの費用で十名分を追加するものです。償還金で三百四十四万二千元の増額補正は、平成二十七年度実績により、超過となった退職者医療療養給付費交付金を返還するものです。

主な質疑事項

Q 脳ドック十名分を追加するのは、**どういう理由でしょうか。**

A 脳ドックは例年四十名で実施していますが、本年度は検診の希望が多いことを考慮して医療機関と協議の結果、十名分が追加で対応可能となったことによるものです。

**平成二十八年度松茂
町介護保険特別会計
補正予算(第一号)**

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ一千七百二十二万九千円を追加し、補正後の予算の総額を十億五千四百七十六千円とするも

のです。

歳入の地域介護・福祉空間整備推進交付金で九十二万七千円の増額補正は、介護サービス事業所が、介護従事者の負担軽減効果のある器械の購入に国が補助するものです。繰越金で一千六百三十万二千元の増額補正は、平成二十七年度実績に伴う返還金の財源に充てるものです。

歳出の地域介護・福祉空間整備費で九十二万七千円の増額補正は、介護従事者の負担軽減効果のある器械を購入する介護サービス事業所に補助金を交付するものです。償還金で一千六百三十万二千元の増額補正は、平成二十七年度の精算による超過交付分の返還金です。

**平成二十八年度松茂
町後期高齢者医療特
別会計補正予算(第
一号)**

既定の歳入歳出予算の総額にそれぞれ五十二万六千円を追加し、補正後の予算の総額を一億六千三百三十一万三千円とするものです。歳入の繰越金で五十二万六千円の増額補正は、平成二十七年度決

算によるもので、歳出で同額を一般会計繰入金返還金で増額補正するものです。

このほか、教育委員会から「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書」を議会に提出したとの説明を受けました。

第三回臨時会

十月十三日、第三回臨時会を開催し、議案一件を審議し、原案のとおり可決しました。主な質疑は次のとおりです。（詳細は、議決結果及び内容をご覧ください。）

中喜来地区津波避難タワー建設工事請負契約締結について

主な質疑事項

Q 津波避難タワー建設に伴い防護柵など周辺の安全対策はどのように考えていますか。

A このたびの工事は、津波避難タワー建設に必要な費用を計上しており、防護柵などの周辺安全対策は工事完了後に必要なものは整備します。

平成二十七年度各会計の決算を認定

決算審査は、議会が決定した予算が適正に執行されているかどうかを審査するとともに、住民に代わって行政効果を検証するものです。

町長から監査委員の意見を付けて提出された八会計の決算認定は、第三回定例会において全てが認定されました。

決算審査結果

監査委員
・日根啓一
・藤枝善則

決算審査の結果

平成二十七年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算書について、関係諸帳簿、証拠書類等と照合した結果、収支計数は正確であり、予算の執行についても適正なものと認めます。

決算審査で付された意見

ただし、次の諸点については、一層の努力を望みます。

(1) 一般会計の状況については、歳入において前年度より約六億四

千万円、一一・三ポイント増、歳出は約五億七千万円、一〇・二ポイント増となっています。

前年度と比較して増額の理由は、老朽化した庁舎を改築し、庁舎機能と併せて防災拠点の整備をする事業、町内二カ所の排水機場を整備する排水対策事業及び総合体育館耐震改修事業に取り組んだことによるものです。各年度において、国庫補助事業等により増減はありますが、平成二十七年度においては、歳入の増加が歳出の増加を一・一ポイント上回っております。実質収支額は七千八百七十七万五千九百七十九円（前年度六千三百二十万六千一百一十円）の対前年比増となっております。厳しい財政事情の中、今後とも適正で効率的な歳入の確保に努め、限られた経費で大きな効果が上げられるよう積極的に各種事業を展開してください。

町税については、約四千百万円の減収になっているものの、徴収率は、九八・〇一％（前年度九八・三二％）と、県下では高い徴収率が維持できています。

経済情勢が厳しい中徴収が難しい状況でありますが、現年分、滞納繰越分ともに差押え等の滞納処分も含め徴収向上対策が認められます。公平性と歳入確保のためにお一層の努力を期待します。

保育料、町営住宅使用料、幼稚園使用料、給食費等について、過年度滞納が見られます。公平性と歳入確保のため、引き続き徴収努力をお願いします。

財政の硬直化を示す経常収支比率は七四・八％と前年度より二・八ポイント下がっており良好な傾向であります。

しかしながら、依然として厳しい財政運営になるので、経常支出を抑制し、引き続き財政の健全化に一層努力してください。

(2) 国民健康保険特別会計の保険税の収納状況については、前年度に比べ収入未済額は二・八ポイント減少しており、昨年四月から賦課徴収事務を税務課に統合して、町税とともに効率的な滞納処分を実施していることが伺われます。

しかしながら収入未済額のうち

ち、滞納繰越分の占める割合が七九・二%となっており、今後、厳正・的確な滞納整理により、滞納繰越分の圧縮を期待してまいります。

また、増え続ける医療費の抑制を図るため、健康増進事業の推進等に努めてください。

(3)介護保険特別会計の保険料の収納状況については、前年と同水準となっております。引き続き徴収率向上に努力してください。今後、財源を確保し、制度の円滑な運営に努めてください。

(4)後期高齢者医療特別会計の状況については、高齢化社会がますます進むことが予想される社会状況であるので、高齢者の健康維持に努めてください。

(5)長原渡船運行特別会計の状況については、良好な運営ができており、引き続き渡船の安全運行に努めてください。

(6)農業集落排水と公共下水道特別会計については、将来にわたり公債費の償還が続き、一般会計からの繰出金が継続されることとなります。本町の財政環境に非常に大きなウエイトを占める

認定第1号から第8号までの各会計歳入歳出決算認定

(単位：円)

		歳入総額	歳出総額	差し引き繰越額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支額
認定第1号 一般会計	平成26年度	5,692,603,223	5,595,988,612	96,614,611	33,414,000	63,200,611
	平成27年度	6,333,359,431	6,166,388,452	166,970,979	88,195,000	78,775,979
認定第2号 国民健康保険特別会計	平成26年度	1,725,514,224	1,620,225,555	105,288,669		105,288,669
	平成27年度	1,935,906,388	1,834,712,126	101,194,262		101,194,262
認定第3号 介護保険特別会計	平成26年度	1,016,106,730	981,230,848	34,875,882		34,875,882
	平成27年度	1,037,165,018	1,010,780,029	26,384,989		26,384,989
認定第4号 後期高齢者医療特別会計	平成26年度	143,867,946	140,913,600	2,954,346		2,954,346
	平成27年度	147,287,454	146,760,754	526,700		526,700
認定第5号 長原渡船運行特別会計	平成26年度	14,703,274	11,585,273	3,118,001		3,118,001
	平成27年度	14,696,946	11,600,518	3,096,428		3,096,428
認定第6号 農業集落排水特別会計	平成26年度	104,422,090	103,673,373	748,717		748,717
	平成27年度	101,695,377	101,221,097	474,280		474,280
認定第7号 公共下水道特別会計	平成26年度	526,865,149	524,045,209	2,819,940		2,819,940
	平成27年度	514,263,442	511,503,838	2,759,604		2,759,604
認定第8号 水道特別会計 (収益的収入及び支出)	平成26年度	374,072,080	338,412,290	35,659,790		35,659,790
	平成27年度	379,775,907	291,523,219	88,252,688		88,252,688

ことになるので、加入促進に努め、長期的な継続事業として、効果の高い計画的な事業の遂行を望みます。

(7)水道特別会計の状況については、健全な経営ができており、水道料金の収納率も良好であることが認められます。引き続き配水管及び石綿管の布設替えを実施し、安全な水が安定的に供給されることを望みます。

健全化判断比率及び

資金不足比率の報告

財政状況の基準を示す数値で、それぞれに良好な数値が維持されており、財政が極めて健全な自治体であると認められます。



全員協議会報告

九月二日、議員全員、町長初め担当課職員出席のもと、町づくりに関する重要事項について協議いたしましたので、主な内容を報告します。

徳島阿波おどり空港機能強化に関する基本設計の概要について

徳島県が外国人旅行者を誘致するため、徳島阿波おどり空港施設の整備として空港に国際線の出発・到着に必要となる施設を増築し、機能強化を図る工事を本年秋に着手し、平成二十九年年度中に供用開始を目指していますという説明がありました。

一般廃棄物中間処理施設広域整備について

松茂町を含む七市町村による徳島東部地域環境施設整備推進協議会を設置して話し合いをしています。が、昨年十一月に徳島市が単独整備の方針を示したことから解散となりました。

その後、徳島市は新市長に交代したこともあり、協議会に参加していた市町のうち、徳島市と佐那河内村を除く、小松島市、勝浦町、石井町、北島町、松茂町の五市町が、改めて徳島市の広域整備の協議への参加と徳島市が計画する施

設の広域利用の検討について、本年五月三十日に徳島市に対し要望書を提出しました。これを受けて徳島市は、事務レベルの話し合いの場を早急につくり、スピード感を持って進めたいと回答がありました。

現在、徳島市を中心として、担当者レベルでの協議を行い、連携を模索しているところだそうですという説明がありました。

長岸地区計画策定について

松茂スマートICと徳島阿波おどり空港を結ぶ幹線道路沿道としての立地条件を活かした良好な環境を有する当該地区の形成を図るため、地区計画を策定し、物流・流通施設や商業施設及び沿道サービス施設等の立地を誘導したいという説明がありました。

用語解説

地区計画とは

都市計画法により住民の合意に基づいて、それぞれの地区の特性にふさわしいまちづくりを誘導するための計画です。

編集後記

早いもので今年も余すところ一カ月となりました。

十一月五日（津波防災の日）は、ご家庭で防災の話をしたり防災訓練に参加し知識を高めたりと、いつ起きるかわからない災害の備えを確かめられたでしょうか。松茂町津波防災ハザードマップをいつも目に付くところに貼り、持ち出し袋は家族一人一人準備し、出入り口に置くなど意識を高めることが大事です。

一月から役場庁舎も新たに災害時の避難場所になります。議会も災害時には町民の皆様、一人の犠牲者を出さないようにとの強い思いで防災・減災対策に取り組んでいます。

ところで、皆様はサツマイモの花をご存じでしょうか。珍しいサツマイモの花を見つけました。知らなかつたと思う方が多いと思いますので掲載しました。

◆議会広報特別委員会



松茂美人(サツマイモ)の花

- 委員長 佐藤道昭
- 副委員長 原田幹夫
- 委員 佐藤禎宏
- 委員 板東絹代
- 委員 鎌田寛司